

牟岐地区におけるトコブシ漁獲物調査

天真 正勝・一ノ宮 誠・宮本 孝則*・和田 隆史*

特定海域栽培漁業強化事業の一環として牟岐地区でトコブシ漁獲物調査を実施した。

方法

平成 10 年 3 月から 6 月のトコブシ漁期間にほぼ週に一回の頻度で、牟岐東及び牟岐町漁協にて漁獲されたトコブシについて、殻長をパンチカードで測定するとともにグリーンマークによる人工種苗の混獲率調査を実施した。

結果

測定個数は 14,477 個で下図に示したように殻長組成は 30～96mm の範囲で、50mm 前半でモードが見られている。通常は 50～60mm が漁獲の大半を占めるが、90mm 以上となる個体もわずかながら出現している。また、混獲率調査では放流貝と思われるグリーンマークを確認できたのは 1,165 個であり、その混獲率は 8.75% であった。放流貝については 50mm 付近に平成 9 年度放流群と見られるモードがあり、それよりやや大きい 65mm 付近にも小さな山がみられ、これは平成 8 年度放流群と思われる。

考察

トコブシは年齢形質が明確でなく、成長も漁場による差異が大きいと思われる。そのため、年級組成を求めるのは難しいが、放流貝の殻長組成からみると放流後 1, 2 年で漁獲されていることから当地区での主なトコブシ漁獲年級群は 2 年及び 3 年と思われる。

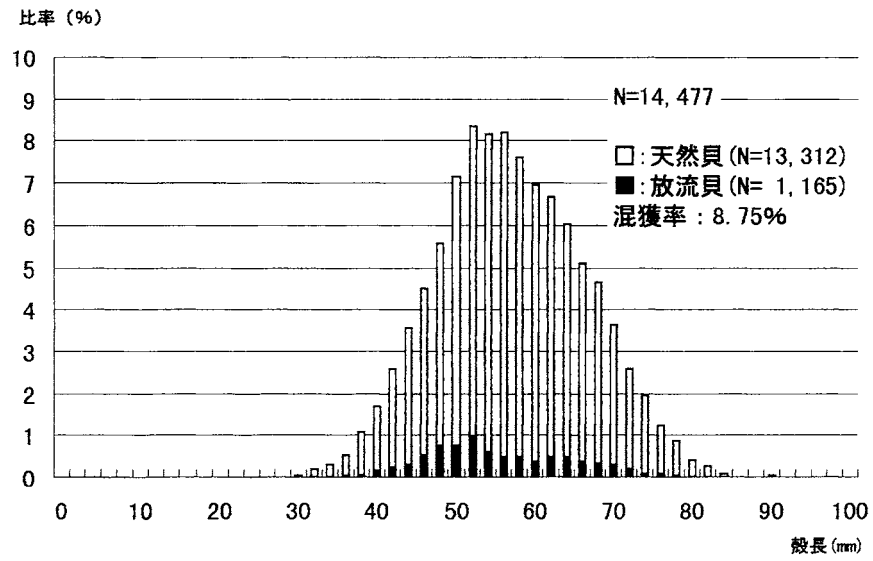


図 平成 10 年度牟岐地区トコブシ漁獲量調査結果